

平成 29 年度品川区シルバー人材センター 事業報告

公益社団法人
品川区シルバー人材センター
会 長 岩 澤 政 善

1. 事業実施状況

概 況

品川区シルバー人材センターは、昭和 52 年 4 月に高齢者事業団として設立され、平成 23 年度には新たに公益社団法人としての認定を受けるなど創設以来 40 年の長きにわたり、高齢者の多様なニーズに応える組織のひとつとして、就業の機会を提供することを通じて、その活動を援助し高齢者の社会参加と福祉の増進を図ってきたところである。

さて、センターの事業運営に影響を与える我が国の経済状況を見ると、この数か月、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果により、着実に景気が回復していくことが期待されるものの、海外経済の動向によっては大きな影響を受けることが懸念され、なお景気の先行きは不透明と言わざるを得ない。

このような状況の中、平成 29 年度は、第 4 次中期計画の 2 カ年目として「シルバー世代の活躍と地域貢献を目指して」の理念の下に重点事業として定めた各事業の推進に着実に取り組んできた。

その成果であるが、残念ながら会員数については平成 29 年度末で前年度より 22 名、0.9%減の 2,416 名という結果に終わった。この要因は、これまでセンターの中心的存在であった層が高齢、病気などの理由により退会していく一方で、新規の入会者がそれに追いついていないことによるが、減少幅については小さくなってはいるものの、未だ増加に転じるには至っていないのが現状である。したがって、引き続き入会強化の取組みを継続する必要がある。

事業実績については、受託件数は 17,021 件と昨年度から 680 件の減となり、契約金額も、12 億 2 千 8 百万円と昨年度より約 2 千 9 百万円の減となった。これは、公共事業について新たな契約もありやや実績が伸びているものの、民間事業については減少が顕著で、従来の請負・委託での就業形態では契約が難しくなっている折から、これを打開するために労働者派遣事業の早期導入が求められる。

一方、センターの大きな課題として挙げられていた事故防止については、28 年度をさらに下回る、9 件と一桁台の発生件数に抑えることができた。これは安全管理委員会の活動強化、地区委員会の声掛けや会員皆様のご協力の賜物と考えている。しかしながら、安全就業については、あくまで事故ゼロを目指すべきものであり、これからも取組みを継続していくことが何より重要である。

以下、事業計画に沿った事業結果について報告する。

I. 事業目標・事業実績について

区分	当初事業目標	事業実績			
		実数	目標との比較	前年度比較	
会員数	2,600名	2,416名 (男性1,366名女性1,050名)	△184名 (7.0%減)	△22名 (0.9%減)	
就業実人員	年間 2,100名	年間 2,045名	△55名 (2.6%減)	△42名 (2.0%減)	
就業延日人員	年間 304千人	308,169日人	4,169日人 (1.4%増)	△1,864日人 (0.6%減)	
契約金額	年間 125,000万円	1,227,554,823円		△22,445,177円 (1.8%減)	
		内訳	公共 438,464,381円	△28,600,423円 (2.3%減)	5,481,767円 (1.3%増)
			民間 789,090,442円		△34,082,190円 (4.1%減)
受託件数	年間 17,000件	17,021件	21件 (0.1%増)	△680件 (3.8%減)	

II. 公益目的事業について

事業1 就業機会の確保・拡大

(1) 区の施策との連携・協力

公共の仕事として選挙公報や区議会だより等の配布・区内小中学校の施設開放管理、シルバーセンターの受付管理などを実施した。区との連携事業としては喫煙マナーアップ啓発事業、資源回収受付、しながわ出合いの湯運営業務など併せて618件の事業を行った。そのうち新規事業は衆議院議員選挙や都議会議員選挙公報の配布業務などの大口の配布業務であった。

(2) 就業機会の確保・拡大事業

民間の仕事としての請負・委託事業については、毎年継続中の事業が減少はしているものの、年間を通じた総数は16,403件の受託件数であった。そのうち新規の契約は956件で、多くは清掃だが、他に施設受付業務などもあった。

① 技能系就業の技術の向上・リーダー育成

技能系就業において、継続して事業を行うために数名新規就業者を得たが、定着するまでには至らなかった。引き続き女性会員の活用も含め取組みを強めていく。

② ポスティングの配布体制

ポスティングについては、部数の多かった3地域を分割し、新たに3名のポスティング担当会員が就業することで、より正確かつ迅速な配布体制の確

立に努めた。今後も部数が多い地域については、地域分割を行う等対応を進めていく。

ポスティング配布数 約 100,000 件

③ 就業・確保拡大

就業確保・拡大のため就業開拓専門員による、区内の中小企業事業者を対象に訪問活動や就業開拓を行った。また、区内全域でのポスティングを行い、問い合わせや下打合せにはすぐに伺うなど新規の案件を中心に清掃や技能系分野の受注拡大に努めた。

また、町会回覧板での PR を年 4 回（6 月、9 月、12 月、2 月）行い、受注勧奨に努めるとともに、区へ協力依頼を行い、企業 PR チラシやメールマガジンにセンターの広告を掲載した。

(3) 地域・家庭からのニーズの充実

① 地域コンビニサービス事業

近年、高齢者世帯や単身世帯が多くなってきたことを反映して、粗大ごみの搬出や病院の付き添いなどの依頼が多くなっている。それらのニーズに応えるため受注体制の強化を図ってきた。ダブル就業の推進で徐々にではあるが従事会員も増えてきている。引き続き、更なる人員確保とダブル就業の推進に努めていく。

地域コンビニサービス事業

事業項目	実績	事業項目	実績
包丁研ぎ・まな板削り	341 件	室内外の片付け・整理・清掃	148 件
粗大ごみの搬出・解体	68 件	病院・買物の付添代行	88 件
家具移動・その他	142 件		

地域コンビニサービス計 787 件

家事援助

事業項目	実績	事業項目	実績
家庭内の掃除	81 件	洗濯および掃除	45 件
食事作り	9 件		

家事援助計 135 件

育児支援

事業項目	実績	事業項目	実績
送迎	20 件	見守り	4 件

育児支援計 24 件

② 学習教室事業

区の補助を受けて、低廉な授業料での子ども向け学習教室事業「おさらい塾」を実施した。平成 29 年度は小学 3 ～ 6 年生を対象とし各学年週 1 回の授業を行い、子どもの基礎学力の向上に努めた。

○小 3 ～小 6 各学年 1 クラス 生徒総数 20 名

③ いきいきプラザ事業の充実

荏原いきいきプラザでは、福祉的就業の場として、引き続き、封入作業や検品作業などの内職作業の受注拡大に取り組んだ。

実績 126 件

(4) 適正就業への対応

適正就業となるよう担当職員による、現場巡回や就業会員への聞き取り調査を行い、就業マニュアルの修正作業を随時行い適正就業に努めた。

(5) 労働者派遣事業法による就業の検討

東京しごと財団派遣事業担当職員を招いて、シルバー人材センターが行う労働者派遣事業について研修を行った。

今後、センターにおいても労働者派遣事業を推進するため、職員が派遣元責任者講習会へ参加するなど派遣事業実施に向けての準備を行った。

(6) 地区委員会・ボランティア活動の充実

地区委員会は、会員相互のコミュニケーションの円滑化や「共働」「共助」の理念に基づき会員の要望や課題の解決に向けて積極的に活動を展開した。

① 定期的な地区委員会の開催

毎月、定期的に地区委員会を開催しセンターの直近の話題、課題について意見交換するとともに地区全体会のテーマや日帰りレクの検討など積極的な運営に努めた。また、会報シルバーしながわの配付を実施した。

② 地区全体会の開催（設立 40 周年記念事業）

夏期と新年に開催している地区全体会のうち、夏期全体会を設立 40 周年記念事業の地区全体会と位置づけて、各地区において様々な記念事業を実施。さらに個別テーマによる勉強会を兼ねて会員の知識の向上に努めるとともに安全管理委員等がセンターの大きな課題である安全就業について訴えた。

また、仕事の募集・会員募集等のポスターの掲出を出席会員に依頼した。

地区全体会の開催 各地区 年 2 回

地区	夏期全体会	講習会などの内容	新年全体会	講習会などの内容
品川北	7/9 開催 52 名	○高齢者の交通事故対策 ○ハーモニカ演奏	2/18 開催 66 名	○安全就業講習 ○津軽三味線と民謡
品川南	8/20 開催 36 名	○防犯について ○フルート・ピアノ演奏	1/28 開催 31 名	○安全就業講習 ○ピアノ演奏・日舞
大 崎	7/30 開催 47 名	○おもてなし会話について ○40 周年記念大抽選会	1/28 開催 50 名	○安全就業講習 ○カラオケ・ビンゴ
大井東	8/27 開催 45 名	○わが町品川の歴史を深く知りたい ○抽選会	1/21 開催 43 名	○安全就業講習 ○リコーダー愛好会との合唱
八 潮	7/23 開催 44 名	○成年後見制度について	1/21 開催 45 名	○安全就業講習 ○手品・落語

地区	夏期全体会	講習会などの内容	新年全体会	講習会などの内容
大井	7/30 開催 49名	○高齢者の安全と事故防止について ○マジックショーほか	2/4 開催 43名	○安全就業講習 ○津軽三味線と民謡
大井西	7/29 開催 30名	○認知症と成年後見 ○芸能大会	1/28 開催 30名	○安全就業講習 ○マジックショーほか
荏原	7/22 開催 74名	○荏原地域の歴史 ○ハーモニカ演奏 ○抽選会	1/20 開催 77名	○安全就業講習 ○荏原地域の歴史 part-2
中延	7/17 開催 58名	○中延・旗の台今昔物語 ○お楽しみ抽選会	1/21 開催 62名	○安全就業講習 ○バイオリン演奏・合唱
戸越	7/25 開催 53名	○戸越・豊町・二葉町今昔物語 ○ハンドベル演奏	1/18 開催 56名	○安全就業講習 ○ミニコンサート ○スプリモス・徳永様

③ 地区委員長連絡会の開催

毎月の新入会員研修会に合わせ地区委員長連絡会を開催し、各地区、事務局との情報連絡・情報交換を行うとともに新入会員に対して地区委員長の紹介、就業相談等を行った。

④ ボランティア活動

福祉施設を訪問し、会員による手品の披露や朗読、荏原音楽倶楽部と利用者の方々による日本唱歌の合唱など、利用者の皆さんとともに楽しいひと時を過ごした。

(社福) 三徳会 荏原在宅サービスセンター訪問 10月31日(火) 参加人数 15名

事業2 普及啓発事業

(1) 会員の入会強化

① 会員募集の強化

○会員の方へ友人・知人紹介カードを配付し、多数入会者を紹介していただいた会員及び地区には入会勧奨への功労を評価し表彰することとした。

10地区 56名紹介 そのうち47名入会

○会員募集チラシは適宜修正を加え、就業拡大募集チラシと一緒に配布を行った。

○ホームページには新しい情報を迅速に載せることで、会員やお客様へスピーディーな情報提供を行った。

② 元気高齢者の入会勧誘

60歳以上の一般区民を対象に「簡単お掃除」研修会を行い、入会勧誘を行った。

「簡単お掃除」講習会 第1回 7/28、第2回 11/24 (各20名参加)
講師 響城 れい様

③ 関係機関でのPR活動

昨年に引き続き品川シルバー大学での加入案内、その他区の関連施設でのパンフレット配布によるPRを行った。

- ④ 現会員数の維持策
会員の健康維持策の一つとして定時総会の間を活用して体力測定会を実施した。
測定項目 握力測定、血圧測定、骨密度測定、連続立ち上がり動作など
- ⑤ 地域包括ケアシステムに向けた取り組み
家事援助や地域コンビニなどに従事する会員同士の座談会を開催し地域包括ケアシステムの展開に応えられるよう新たな会員募集策などの意見交換を行った。
- ⑥ 女性会員募集の強化
家事援助や育児支援を担う就業会員を安定的に確保するため、シルバー体験のつどいにて「若返りお化粧の仕方」や「スカーフの巻き方」のブースを作り、女性が入会に興味を持つような取り組みを行った。

(2) 積極的な広報活動の展開

- ① 事業 PR チラシ、ポスターの配布
 - 新入会員の会員募集及び事業用チラシ配布 60,000 枚
 - 会員による会員募集ポスター貼付 400 枚
- ② 区広報等の活動
 - 区の広報しながわ 年 4 回実施、区の統合ポスター 年 2 回実施
 - 町会回覧 6月、9月、12月、2月 年 4 回
 - 国民健康保険加入者へ送付されるリーフレットへの広告掲載
- ③ その他 PR
多くの方にセンターを広く知ってもらえるよう、東急バスの車内放送や新馬場駅前に案内板広告を掲出し PR を行った。

(3) 定期的な機関紙等の発行

- ① シルバーしながわ
広報担当理事と職員で構成される広報委員会が各発行時期に合わせて年 12 回編集会議を開催し、安全就業などセンターを取り巻く課題や身近な話題、地区委員会活動の様子などを取り上げた。また、品川区内の季節の風景などを表紙とし、会員さんの趣味の紹介や各地区の歩みも紹介するなど、親しみのある紙面づくりを心掛けた。
さらに広報委員会とは別に記念誌実行委員会を立ち上げ、5 回の編集会議を経て 10 月号をセンター設立 40 周年記念特別号として発行した。
 - 年間発行回数… 4 回（4 月・7 月・10 月・1 月）
- ② センター通信
会員向けの月刊誌として直近の情報を会員に知らせるとともに、安全就業については毎月欠かさず重要性を訴えた。また、就業中の会員には配分金明細書に同封するとともに、各事務所に配置することで未就業会員も入手できるようにした。
 - 毎月発行…年間 12 回

事業3 研修・講習事業

(1) 新入会員研修

センターの行っている事業の基本的理解と就業の際の注意点、接遇の大切さなどを内容とする研修を実施した。

年間実施回数…12回 平成29年度受講会員数 195名

毎月の受講状況

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受講者	19	21	13	22	11	17	17	21	7	6	14	27

研修プログラム

「接遇」 講師 (株)パトス

各地区委員長との顔合わせ

つま先立ち体操

センターの課題および挨拶 会長

センター事業の説明 事務局長、事務局次長

就業の相談、あっせん 各担当者

(2) 職群ごとの研修会の開催

会員の技能向上と資質向上を目指して職群ごとに基礎研修を実施した。植木班については造園など技能知識が豊富で長い現場経験を持つ専門家が講師を務め、シルバーセンター管理業務では円滑な業務遂行に向けてパソコン研修を実施するなど、外部講師を積極的に登用した。また、各職群の研修会では、接遇や安全就業などの研修を随時行った。

ア. 防災活動広場公園等清掃業務	4月20・25日	36名参加
イ. 学校施設開放管理業務	5月11・12日	130名参加
ウ. 東京都議会議員選挙公報配布業務	5月30日	176名参加
エ. ふれあい作業所公園清掃業務	8月8日	40名参加
オ. シルバーセンター管理業務パソコン講習会	8月17・18日	20名参加
カ. シルバーパス更新業務	8月18・21日	122名参加
キ. 家事援助・地域コンビ二座談会	8月25日	20名参加
ク. 衆議院議員選挙公報配布業務	10月3日	181名参加
ケ. 自転車シミュレーター自転車講習会	11月15日	39名参加
コ. 資源回収業務	12月22日	122名参加
サ. いきいきプラザ内職業務	12月25日	17名参加
シ. 除草班	2月26日	20名参加
ス. シルバーセンター目的外管理業務	2月28日	20名参加
セ. 植木作業班	3月6日～8日	24名参加
ソ. しながわ出会いの湯	3月9日	60名参加
タ. 児童通学確認業務・環境整備業務	3月12日～15日	148名参加
チ. 喫煙マナーアップ啓発事業	3月15日	87名参加
ツ. 学校施設開放管理・児童通学確認業務	3月29日	42名参加

講師：オは (有)フォーティ 川上絵美子様・斧田憲明様
ケは 安全講話 品川警察署 鈴木様
セは 加藤造園 加藤信愛様・野口造園 野口忠男様
その他は担当者

(3) 外部機関を活用しての研修

《東京しごと財団の就業支援講習会》

会員の技術力向上を図るため、東京しごと財団が実施する「就業支援講習会」に年間を通じて会員の参加勧奨を実施した。

- 植木の基礎（除草と刈込み） 1名参加
- 福祉・家事援助サービス 1名参加
- ハウスクリーニング 2名参加

《第4ブロック共同研修》

- 事故未然防止講習 12名参加
- 普通救命講習 7名参加
- 交通安全講習 14名参加
- 「効果的な事業説明」研修 1名参加
- 「アンケート調査の実務」研修 2名参加

事業4 調査研究事業

センターの労働者派遣事業を推進するため、センター職員2名が先進地区である大田区シルバー人材センターに出向き具体的な業務内容等の教示を受けた。大田区では想定よりも実績が伸び悩んでいる理由として、事務手数料が15%上がることへの理解が中々得られないことを挙げていた。しかしながら、区役所からの受注を柱に順調に運営している。この調査結果を今後の事業展開に活かすとともに、引き続き都内など他センターが実施している先進事例を今後の調査対象にしていく。

事業5 相談事業の実施

(1) 理事による就業相談

就業、未就業を問わず会員から広く就業上の相談や仕事上での悩みを理事が聞き取り、今後の仕事の改善や会員の生きがいづくりにつながるようアドバイスを行った。総務部会理事が主に未就業会員を対象に「お客様発注内容一覧表」などを活用し、本部及び荏原支部で就業相談を実施した。

毎月第2木曜日 午後1時から午後4時まで

相談会員34名（男性25名、女性9名）その他、資料持ち帰りに多くの会員が来所

(2) 入会出張相談

会員増強の一環として、働く意欲のある高齢者が安心して入会できるように各地区の委員長が中心となり入会出張相談を行った。入会出張相談会への参加者の増加を図るため、例年地域センター等で地区毎に10回実施していた入会

出張相談を、途中から合同入会出張相談会「シルバー人材センター体験のつどい」に移行した。

○各地区地域センターや文化センターで開催 実施回数 6 回 相談者 14 名

○シルバー人材センター体験のつどいで開催 実施回数 2 回 相談者 25 名

また、サポしながわと連携し、合同就職面接会を共催し合同面接会場にて相談コーナーを設置し入会勧誘を行った。

○合同就職面接会 年 2 回実施 会場 きゅりあん 相談人数 8 名

(3) 適切なクレーム対応

今年度において、理事会で取り上げるクレームはなかったが、引き続き発生した場合は理事会で取り上げ、具体的な解決策について協議を行う。

(4) 不適格就業会員への措置

不適格就業会員に対する措置要綱を策定し、全会員へ配付した。

事業 6 安全就業対策の推進

センターにおける安全就業対策は法人組織の維持のためにも重大な課題であり、近年は事故件数が全く減少しないという深刻な状況が続いていた。平成 28 年度からこうした深刻な状況を踏まえて安全管理委員会を中心とした多様な取組みの強化に努めた。その結果、平成 27 年度の傷害事故 27 件に対し、初めて平成 28 年度は 13 件と半減することができた。そして平成 29 年度も同様に、安全管理委員会を中心とした安全パトロールや事故再発防止講習会を実施した結果、初めて一桁台の 9 件の事故発生に抑えることができた。

事故概要については資料 1 のとおりだが、転倒事故が 6 件、動作の反動が 1 件、交通事故が 2 件となっている。このように積極的な取組みの成果が表れてきてはいるものの、全国的には横断歩道を歩行中の子供、高齢者が事故に巻き込まれるケースなどが多くなっており、今後とも高齢者自らが再三再四注意を要する必要がある。引き続き安全就業の取組みを継続していくことが重要である。

(1) 安全就業強化の取組み

① 職群班の技能研修や打ち合わせ会を安全集会と兼ねたものと位置付け、安全管理委員も参加して開催した。開催された 15 職群では、安全就業についての講話、つま先立ち体操、指差し唱和の訓練、KY(危険予知)運動なども実施し、最後にそれぞれ安全宣言等を採用して、安全就業の徹底を図った。

ア．防災活動広場公園等清掃業務 4 月 20・25 日 36 名参加

イ．学校施設開放管理業務 5 月 11・12 日 130 名参加

ウ．東京都議会議員選挙公報配布業務 5 月 30 日 176 名参加

エ．ふれあい作業所公園清掃業務 8 月 8 日 40 名参加

オ．衆議院議員選挙公報配布業務 10 月 3 日 181 名参加

カ．自転車シミュレーター自転車講習会 11 月 15 日 39 名参加

キ．資源回収業務 12 月 22 日 122 名参加

ク. いきいきプラザ内職業務	12月25日	17名参加
ケ. 除草班	2月26日	20名参加
コ. シルバーセンター目的外管理業務	2月28日	20名参加
サ. 植木作業班	3月6日～8日	24名参加
シ. しながわ出合いの湯	3月9日	60名参加
ス. 児童通学確認業務・環境整備業務	3月12日～15日	148名参加
セ. 喫煙マナーアップ啓発業務	3月15日	87名参加
ソ. 学校施設開放管理・児童通学確認業務	3月29日	42名参加

- ② 地区全体会(年2回×10地区)においても安全管理委員が出席し、実際の事事例の説明、危険予知について周知を図った。
- ③ KY(危険予知)運動については、3年目を迎え、指差し唱和・指差し呼称などをそれぞれの職群会議などで、会員に周知・呼びかけを行い、それぞれの就業現場にふさわしい方法で実践するように依頼した。
- ④ 自転車事故の件数が多いことから、特に夜間就業途上に自転車を使用する、学校施設開放管理業務班の会員を中心に自転車シミュレーターを使用した講習会を11月15日に本部2階・第一集会室で39名の参加者で実施し、品川警察署の交通安全の講話のあとに参加者全員が体験乗車をし自転車に乗る際の注意点を学んだ。

(2) 安全就業基準の徹底

- ① 植木班、除草班を中心に安全講習会で安全就業基準の再確認をした。
植木班では、就業前からのヘルメットの着用徹底やヘルメット貸与時に安全就業のシールを貼り注意喚起を行った。また、除草班にもヘルメットを配付し、植木班と一緒に作業する場合などに着用を義務づけた。
- ② 高所作業(1.5m以上)時に脚立や三脚等の道具を使用する際、安全就業基準の徹底を図った。主に使用するのは植木班であり、悉皆研修である安全講習会において徹底を図った。また、造園業の方を講師に招いた講習会及び研修でも使用方法を確認してもらった。植木現場での四脚使用は危険との指摘がされており、なるべく三脚使用に切り替えるため、安全講習会の時に説明し三脚利用の促進を図った。
- ③ 転倒予防に役立つようにと会議前等を実施している「つま先立ち体操」をより多くの会員に広めるよう、職群会議・地区全体会・総会前・安全パトロール点検時に実施し普及に努めた。また、「楽にできる腰痛体操」についても「つま先立ち体操」の仕方と一緒に掲載したチラシを配付して奨励した。

(3) 安全管理委員の活動強化

- ① 安全管理委員会の開催
安全管理委員会を年4回開催し、「安全対策基本計画」および「安全対策実施計画」を作成、実行し事故0を目指した。
定期開催 年4回(4月・6月・10月・3月)
うち2回(6月・10月)は地区委員長との合同開催。

② 安全管理委員会の強化

安全管理委員会の委員長・副委員長の改選時期にあたり、6月の安全管理委員会で新委員長・副委員長2名を選出し新体制でスタートした。その他委員についても、新しい就業現場2カ所から委員を選出、安全管理委員会の体制強化に努めた。また、安全就業についての情報や注意が会員の隅々まで行き渡るように、センター通信やシルバーしながわに安全就業についての情報を掲載した。

③ 安全パトロールの実施

植木現場を中心に予定回数を大幅に上回る年間15回の安全パトロールを行い、事故防止を呼び掛けた。また、12月・1月・2月については、夜の就業現場を中心にパトロールを実施。学校施設開放管理や地域センターの管理業務・夕方からの喫煙マナーアップ啓発事業などの現場を巡回し安全に対する注意喚起を行った。3月について、初めて洗濯業務の現場と清掃現場をパトロールした。

実施日	パトロール場所	指摘、留意事項	参加者
5/16	植木現場4件	道路に標識を出していない現場があり指導した。	安全管理副委員長 2名他2名
6/12	植木現場2件 公園清掃2件	会員証の不携帯の会員が2名いたので、携帯するように注意した。	安全管理副委員長 他3名
7/20	植木現場3件	足元にゴミ出し用のビニール袋が置いてあり、踏んでしまうと危ないので注意した。	安全管理委員長・ 副委員長他1名
7/25	植木現場4件	一カ所で三脚のてっぺんに登っていたので注意した。	安全管理委員長・ 副委員長他2名
8/29	植木現場2件 シルバーセンター 受付・管理業務	指摘点は特に無し。	安全管理委員長・ 副委員長他2名
9/13	植木現場3件	植木現場の内1件で、道路にかかっていたが、標識の設置がされていなかったため今後は使用するよう指導した。	安全管理委員長 他3名
10/26	植木現場2件	どちらの現場も安全に気を配り適正に就業していた。	安全管理副委員長 他2名
11/9	植木現場3件	安全に気を配り適正に就業していた。	安全管理委員長 他3名
11/24	植木現場1件 公園清掃1件 マシヨク清掃1件	植木現場で風邪気味の会員がいたため、絶対に木には登らないよう指導した。もう1名の会員にも変わった様子があればすぐに帰るよう依頼した。	安全管理委員長・ 副委員長他2名
12/21	学校施設開放管理 2件	一人就業の現場なので健康に留意するよう依頼した。	安全管理委員長 他2名
1/25	地域センター集会 室開放・管理2件	一人就業の現場で、健康に留意するよう依頼し帰宅時にも注意するように声掛けする。	安全管理副委員長 他2名

実施日	パトロール場所	指摘、留意事項	参加者
2/9	喫煙マナーアップ	作業開始前のつま先立ち体操の実施や皆さん協力しての灰皿清掃など適切に対応作業していた。但し会員証の不携帯があり注意した。	安全管理委員長・副委員長・局長 他2名
2/14	学校施設開放管理 2件	行き帰りや現場巡回の時にも注意を払ってもらうよう依頼した。	安全管理副委員長 他3名
3/30	都立学校清掃と 洗濯業務2件	会員証の不携帯があり注意。 洗濯業務は大変忙しそう、皆さん頑張って就業されていた。	安全管理委員長 他3名

8/30にしごと財団から安全パトロール指導員が来所、午前中に植木道具置場1件シルバーセンター受付・管理業務1件の巡回点検を指導員・安全管理委員長他2名で実施した。

④ 安全就業強化月間の取組み

7月、11月、2月と3回実施した。各安全就業強化月間の共通の取組みとして事故防止の注意喚起のチラシ配布、シルバーしながわでの安全就業に関する特集記事、センター通信等での就業途上の転倒事故・自転車事故防止の呼び掛けとつま先立ち体操の奨励等を実施した。また、就業報告書を提出の際に事故への注意喚起をする一人一声掛け運動を実施した。その他各事務所で安全就業の垂れ幕を掲出し呼び掛けた。また、安全強化月間においては安全パトロールを2回実施した。さらに、年2回実施した地区委員長合同の安全管理委員会において、地区委員長を始めとして、各委員さんにも協力を依頼し、会員への声掛けに協力してもらった。

以下、月ごとに行った取組み

《7月》

- 熱中症・茶毒蛾・蜂等に対する注意喚起チラシを配分金明細書に同封
- 各事務所で「転倒防止」・「熱中症対策」の注意喚起チラシと熱中症対策「塩飴」を配布
- 各事務所を猛暑避難拠点（避暑シェルター）として麦茶を用意
- 夏の地区全体会において安全管理委員による安全講習の実施

《11月》

- 自転車シミュレーターを使用した講習会を11月15日に開催し品川警察署からも2名の署員を招き、鈴木係長が交通事故についての安全講話を実施、その後に体験乗車会を開催。
- 各事務所で来所会員に風邪予防「のど飴」を配布
- 就業経路途上の転倒事故・自転車事故防止チラシの配布
- 安全標語の募集
- 反射リストバンドの配付

《2月》

- 各事務所で「転倒防止」・「路面凍結による転倒」の注意喚起チラシと風邪予防「のど飴」を配布

⑤ 会員への安全就業の周知

配分金明細書に適宜、安全に関するチラシを同封し注意喚起を呼びかけ、窓口でも配付し注意喚起を行った。

○熱中症予防チラシ・転倒予防チラシ・雪に関する注意チラシ等

⑥ 事故再発防止講習会

平成 28 年度に引き続き傷害事故に遭われた方を対象に参加を義務づけた事故再発防止講習会を実施した。講習会は傷害事故に遭われた会員が就業に復帰する前に局長・担当者・安全管理委員長・副委員長・地区委員長などにも協力いただき随時実施した。

⑦ 過去の事故事例集の作製

過去 5 年間に本センターで発生した傷害事故 115 件について分析を行い、今後の事故防止対策の強化を図るため、課題や問題点、対策案を提示した「傷害事故事例集及び事故防止対策集」を作製し 3 月に全会員へ配付した。

(4) シルバー保険の加入、自転車総合保険の斡旋

① シルバー保険加入 2,416 人 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

② 自転車総合保険の加入の斡旋

保険加入者数 平成 29 年 10 月 1 日現在 474 人

(5) 植木班・除草班の安全就業への独自の取組み

○安全具の適正使用

植木現場に入る際は必ずヘルメットを着用し、安全帯も必ず用意し必要に応じ着用することとした。安全パトロールで確認したが違反は皆無であった。

○職群会議および安全講習会の実施

職群班会議を 4 月と 3 月に開催するとともに、悉皆研修として位置づけた安全講習会を 3 月に実施した。植木班・除草班全員が受講し事故の再発防止に努めた結果、傷害事故は 0 件であった。

○体調管理

体調に関するアンケート調査を会員の家族の協力のもとで実施し、作業量の見直しを行い、繁忙期でも週 1 日、原則週 2 日はできれば休み、体調管理に留意することとした。

(6) その他の取組み

年間を通じて安全就業用帽子の配布、安全就業用ベストの貸与を継続した。

しごと財団や第 4 ブロックで開催された、事故未然防止講習会や転倒防止講習会などに安全管理委員長を始めとして積極的に参加し、事故防止について学習した。

事業7 地域交流活動の充実

(1) 40周年記念行事の実施

① 記念式典行事

平成29年6月16日(金)、定時総会終了後、(公財)ダイヤ高齢社会研究財団の石橋智昭氏による「生きがい就業の介護予防効果について」記念講演が行われた。また、寄席では桂宮治師匠の落語、ヒロミさんの奇術、三遊亭遊雀師匠の落語が披露され、大盛況に終わった。

② 記念品の贈呈

10/2から各事務所にて、電波時計を贈呈した。

③ 地区記念行事

各地区で記念行事を行い、10地区で509名の参加があった。

④ 40周年記念誌の発行

40周年記念誌実行委員会により、シルバーしながわの設立40周年記念特集号が作製され、11月初旬、地区委員の方が全会員に配付した。

(2) 会員交流コーナーの充実

本部、荏原支部、東大井支所に会員同士の日常的な交流の促進を図るとともに「お客様発注一覧表」を備え、就業情報を得る場としての会員交流コーナーを毎月1回実施した。

来所会員 18名

(3) シルバーお助け隊の設置拡大

昨年の荏原地区に続き、簡易なサービスを地域の会員同士が助け合う「シルバーお助け隊」を中延地区に新設した。

調査・相談会員数 15名実施

(4) イベントを活用したPR

イベントへの参加

イベント	実施日時	参加会員・実績
みどりと花のフェスティバル	4/15・16 10/21 ※22日雨天中止	会員延8名 包丁研ぎ延べ99本 PRグッズ延べ800個配布
八潮まつり	7/15・16	会員延6名 PRグッズ延べ160個配布 菓子・ジュースの販売・わなげ
品川第一地区まつり	7/16	会員10名 ポップコーン販売・パターゴルフ
シルバー成年式	9/9	会員5名 PRグッズ900個配布
武蔵小山一番通り 商栄会一番祭り	10/27～29	会員延10名 包丁研ぎ延べ253本 PRグッズ延べ600個配布

イベント	実施日時	参加会員・実績
大商業まつり	11/25	会員7名 包丁研ぎ67本 PRグッズ300個配布
地域でつながる みんなの暮らし展 (旧：品川区消費生活展)	2/24・25	会員延6名 包丁研ぎ延べ59本 PRグッズ延べ600個配布
シルバー人材センター 体験のつどい	10/12 3/23	会員他延31名 PRグッズ延べ132個配布

(5) フランス語講習会の実施

会員の知的好奇心を喚起するとともに、定期的に会員が集まって受講することを通じて、仲間意識を醸成することにより、センターから紹介される新たな仕事にもチャレンジ精神を持って対応できることを目的として実施した。

さらには、非会員の一般の方にも呼び掛け会員の入会促進に繋げていくという目的としても実施した。1クール6カ月の長期間の講習を行った。

講師はセンター会員で、東京都の外国人おもてなしガイド（英語・フランス語）に登録し英検1級・通訳案内士等の資格を持ち、仕事でフランス赴任の経験がある方に依頼。

今年度は計2回18名の会員が受講した。

(6) 初級英会話教室

会員増強の一環で新規入会をした会員が受講できる初級英会話教室を11月7日～1月30日の3カ月間毎週火曜日、東大井支所にて試行で開講した。

10月の第1回「シルバー体験のつどい」で急遽生徒＆新入会員を募集したところ4名が入会し受講に至った。

講師はフランス語の講師でもあるセンター会員に依頼。内容は出会いの挨拶から始まり、英語版童話を題材に学び「You Are My Sunshine」など簡単にポピュラーな歌を歌ったりと1回の講習1時間30分を飽きさせず楽しく受講した。

Ⅲ. 収益事業

国有地・所有地をセンターが道路占用許可や行政財産の使用許可を得て、駐車場として経営した。また、毎日の清掃、不法駐輪・駐車撤去や道路の整理・整頓などを実施して周辺環境の整備に努めた。

実績額 940万円

IV. 法人運営（法人会計）

(1) 運営の簡素化

公益法人の機関運営については、簡素で効率的な法人運営の徹底に取り組んだ。

平成 29 年度定時総会

開催日時 平成 29 年 6 月 16 日（金） 午後 1 時～
開催場所 きゅりあん（大ホール）品川区東大井 5 - 18 - 1
会員数 2,438 名
出席会員数 1,759 名（内委任状 1,245 名）
定足数 1,219 名（会員数の 2 分の 1）
議 案

第 1 号議案 公益社団法人品川区シルバー人材センター
平成 28 年度決算報告
第 2 号議案 理事 11 名選任の件
報告事項 公益社団法人品川区シルバー人材センター
平成 28 年度事業報告
公益社団法人品川区シルバー人材センター
平成 29 年度事業計画及び収支予算書

(2) ガバナンス（内部統治）の強化

理事会の活性化および監査の充実

理事会等を定期的開催し事業の全体状況や会員の現状など運営全般を適宜把握し、課題や問題点について活発な論議を重ねて管理と経営の充実に努めた。また、監査についても適切な経理処理と経営改善につながるよう定期的に実施した。

理事会 年 … 12 回開催
三役会 年 … 11 回開催
監 査 年 … 2 回開催

2.会員の状況

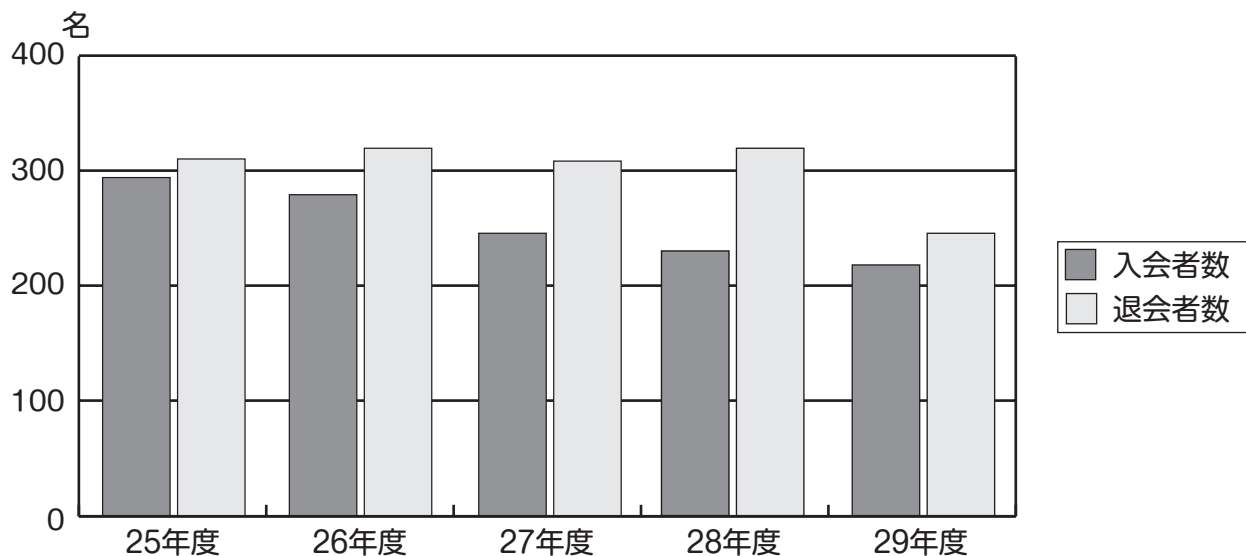
(1) 会員の入退会者数

年月	入会		退会		月末会員数		
	男	女	男	女	男	女	計
29.4	32	32	47	27	1,376	1,052	2,428
5	16	6	11	3	1,381	1,055	2,436
6	6	15	22	23	1,365	1,047	2,412
7	10	4	10	12	1,365	1,039	2,404
8	9	7	7	5	1,367	1,041	2,408
9	7	11	5	3	1,369	1,049	2,418
10	9	12	8	0	1,370	1,061	2,431
11	10	8	7	4	1,373	1,065	2,438
12	4	2	3	4	1,374	1,063	2,437
30.1	5	3	7	4	1,372	1,062	2,434
2	4	4	8	13	1,368	1,053	2,421
3	0	3	2	6	1,366	1,050	2,416
合計	112	107	137	104			

退会理由

病	気	61名	家庭の事情(介護等)	7名
就	職	21名	会費未納	55名
死	亡	26名	加齢	22名
転	居	27名	センター運営に対する不満	1名
希望する仕事なし		10名	未回答(不明)	0名
就業機会なし		0名	その他	11名
			合計	241名

(2) 会員の入退会者数の推移(過去5年間)



区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
入会者数	295	277	242	234	219
退会者数	307	316	304	309	241

(3) 会員の年齢別内訳

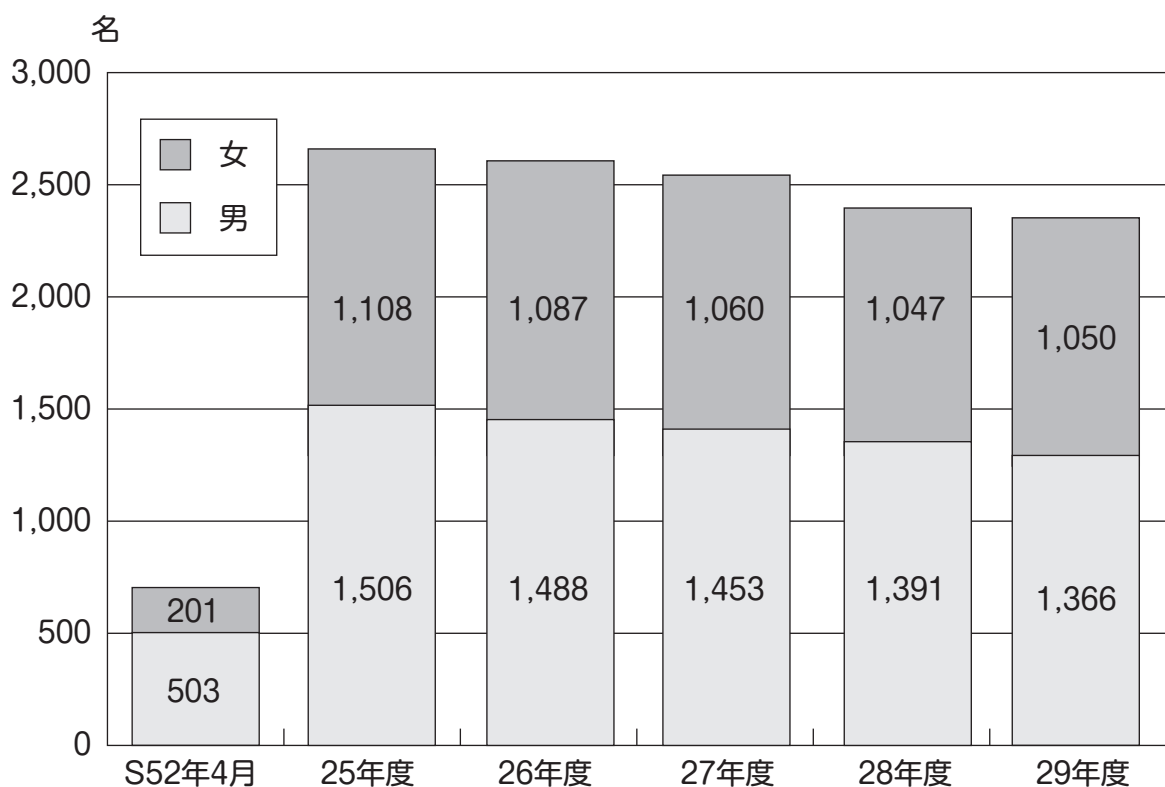
平成30年3月31日現在

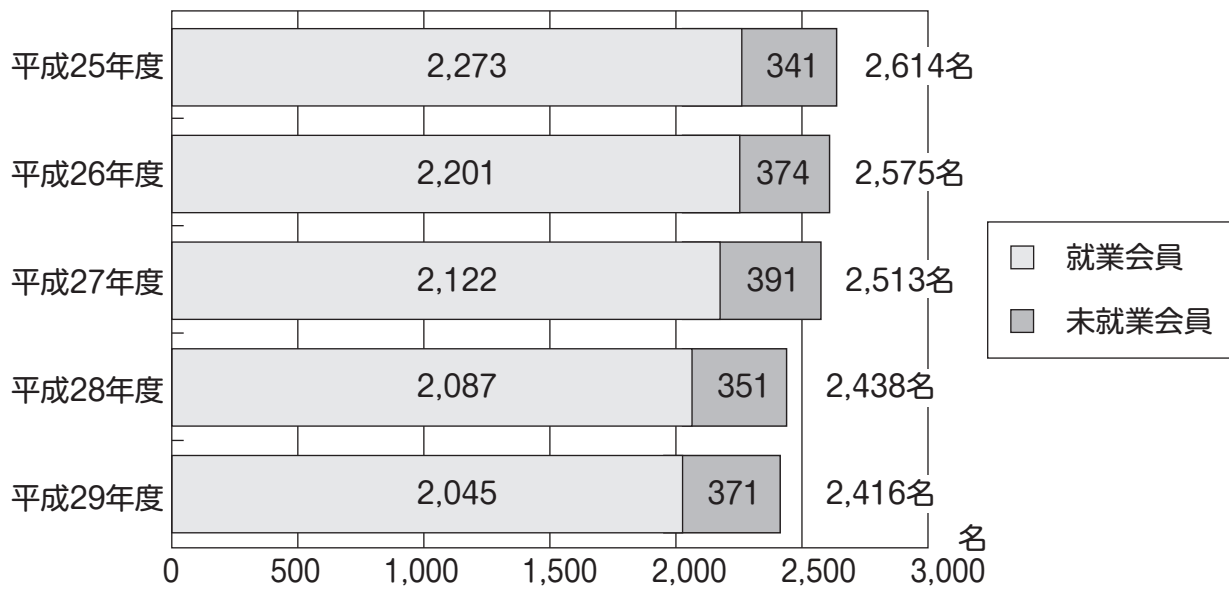
	60歳未満	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	合計
男	1	23	208	406	390	338	1,366
女	0	23	175	313	311	228	1,050
計	1	46	383	719	701	566	2,416

- ・会員の男女比 男性 56.5% 女性 43.5%
- ・平均年齢 男性 75.8歳 女性 75.3歳
- ・最高年齢 男性 95歳 女性 90歳

(4) 会員数の推移

	S52年4月	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
男	503	1,506	1,488	1,453	1,391	1,366
女	201	1,108	1,087	1,060	1,047	1,050
計	704	2,614	2,575	2,513	2,438	2,416





(6) 各年度月別就業実人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 実人員
平成25年度	1,897	1,896	1,902	1,906	1,849	1,905	1,858	1,867	1,838	1,831	1,847	1,831	2,273
平成26年度	1,875	1,851	1,862	1,846	1,810	1,856	1,818	1,794	1,779	1,788	1,770	1,765	2,201
平成27年度	1,819	1,818	1,825	1,801	1,761	1,829	1,809	1,808	1,776	1,755	1,760	1,779	2,122
平成28年度	1,792	1,783	1,805	1,800	1,765	1,815	1,775	1,793	1,767	1,745	1,749	1,737	2,087
平成29年度	1,761	1,746	1,734	1,764	1,721	1,768	1,730	1,714	1,684	1,684	1,688	1,678	2,045

3. 事業実績

(1) 平成29年度月別事業実績

月別	月別 会員数	事業別	受託事業 件数	就業人員		契 約 金 額			
				延実人員	延日人員	配 分 金	材 料 費	事 務 費	計
	人		件	人	日人	円	円	円	円
4月	2,428	公 共	43	1,159	8,267	32,355,402	997,163	3,087,983	36,440,548
		民 間	1,302	2,148	16,712	59,485,886	945,628	5,000,725	65,432,239
		計	1,345	3,307	24,979	91,841,288	1,942,791	8,088,708	101,872,787
5月	2,436	公 共	54	1,164	8,852	33,040,655	661,800	3,537,539	37,239,994
		民 間	1,535	2,437	17,410	63,777,038	1,407,230	5,517,236	70,701,504
		計	1,589	3,601	26,262	96,817,693	2,069,030	9,054,775	107,941,498
6月	2,412	公 共	46	1,045	8,915	33,299,924	953,276	2,933,599	37,186,799
		民 間	1,467	2,305	16,943	63,848,339	1,231,734	5,463,925	70,543,998
		計	1,513	3,350	25,858	97,148,263	2,185,010	8,397,524	107,730,797
7月	2,404	公 共	52	1,433	9,768	35,010,708	983,241	2,838,650	38,832,599
		民 間	1,421	2,342	17,435	61,412,650	1,282,493	5,238,782	67,933,925
		計	1,473	3,775	27,203	96,423,358	2,265,734	8,077,432	106,766,524
8月	2,408	公 共	55	1,296	8,391	30,197,058	899,592	2,448,885	33,545,535
		民 間	1,393	2,381	17,931	61,438,739	1,603,149	5,254,226	68,296,114
		計	1,448	3,677	26,322	91,635,797	2,502,741	7,703,111	101,841,649
9月	2,418	公 共	54	1,241	10,130	32,595,091	1,764,837	3,360,898	37,720,826
		民 間	1,409	2,603	17,862	62,546,815	1,400,118	5,671,053	69,617,986
		計	1,463	3,844	27,992	95,141,906	3,164,955	9,031,951	107,338,812
10月	2,431	公 共	48	1,462	9,778	39,870,881	1,727,135	3,910,693	45,508,709
		民 間	1,458	2,311	16,923	60,849,566	1,168,211	5,218,191	67,235,968
		計	1,506	3,773	26,701	100,720,447	2,895,346	9,128,884	112,744,677
11月	2,438	公 共	53	1,166	8,841	32,215,034	745,807	3,202,102	36,162,943
		民 間	1,487	2,645	16,660	61,201,377	1,101,426	5,293,125	67,595,928
		計	1,540	3,811	25,501	93,416,411	1,847,233	8,495,227	103,758,871
12月	2,437	公 共	42	951	7,500	27,946,561	866,224	2,541,581	31,354,366
		民 間	1,440	2,305	16,842	59,212,859	1,125,785	5,165,895	65,504,539
		計	1,482	3,256	24,342	87,159,420	1,992,009	7,707,476	96,858,905
1月	2,434	公 共	50	1,128	8,139	28,835,446	843,686	2,947,042	32,626,174
		民 間	1,155	1,814	14,512	50,621,477	858,356	4,398,185	55,878,018
		計	1,205	2,942	22,651	79,456,923	1,702,042	7,345,227	88,504,192
2月	2,421	公 共	53	1,364	9,014	31,527,716	912,491	3,288,520	35,728,727
		民 間	1,149	1,900	15,136	51,302,812	732,748	4,423,236	56,458,796
		計	1,202	3,264	24,150	82,830,528	1,645,239	7,711,756	92,187,523
3月	2,416	公 共	68	1,271	9,485	32,345,273	282,115	3,489,773	36,117,161
		民 間	1,187	1,990	16,723	57,769,417	771,059	5,350,951	63,891,427
		計	1,255	3,261	26,208	90,114,690	1,053,174	8,840,724	100,008,588
累 計		公 共	618	14,680	107,080	389,239,749	11,637,367	37,587,265	438,464,381
		民 間	16,403	27,181	201,089	713,466,975	13,627,937	61,995,530	789,090,442
		計	17,021	41,861	308,169	1,102,706,724	25,265,304	99,582,795	1,227,554,823

(2) 会員の職群別就業実績

	公共事業		民間事業		合計		構成比
	延日人員	配分金	延日人員	配分金	延日人員	配分金	
	日人	円	日人	円	日人	円	%
1.技術群	0	0	4,076	15,012,245	4,076	15,012,245	1.4
2.技能群	155	1,824,875	7,177	60,751,643	7,332	62,576,518	5.7
3.事務群	2,985	9,585,977	12,606	26,274,397	15,591	35,860,374	3.2
4.管理群	36,821	194,648,935	17,654	78,895,183	54,475	273,544,118	24.8
5.折衝外交群	576	1,549,442	1,066	3,899,809	1,642	5,449,251	0.5
6.軽作業群	28,853	98,182,628	138,890	497,425,915	167,743	595,608,543	54.0
7.サービス群	37,690	83,447,892	19,620	31,207,783	57,310	114,655,675	10.4
8.その他	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	107,080	389,239,749	201,089	713,466,975	308,169	1,102,706,724	100.0
構成比%	34.7	35.3	65.3	64.7	100.0	100.0	

図-1 職群別配分金比率

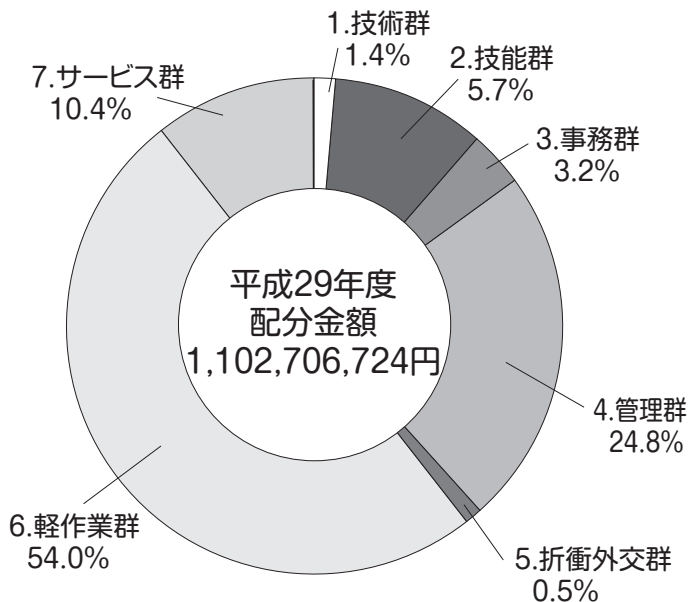
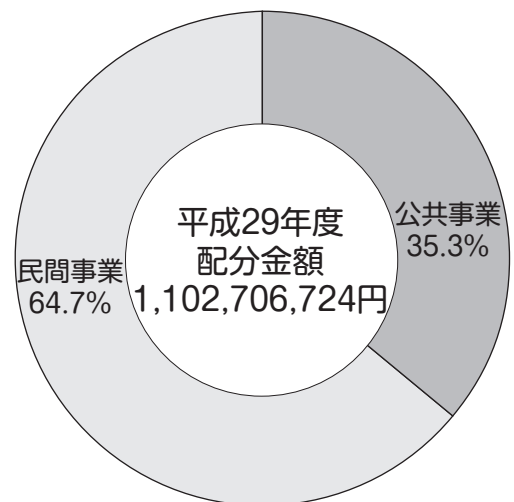


図-2 事業別配分金比率



年度	事業別	委託件数	延日人員	配分金	材料費	事務費	計	公民比
		件	日人	円	円	円	円	
昭和52年度	公共	79	3,235	8,636,296	682,986	502,882	9,822,164	33.6 : 66.4
	民間	704	5,132	15,847,884	2,363,864	1,177,307	19,389,055	
	計	783	8,367	24,484,180	3,046,850	1,680,189	29,211,219	
平成25年度	公共	630	104,197	377,976,075	11,892,128	33,969,126	423,837,329	32.9 : 67.1
	民間	16,301	29,863	793,243,984	12,362,354	58,588,478	864,194,816	
	計	16,931	134,060	1,171,220,059	24,254,482	92,557,604	1,288,032,145	
平成26年度	公共	634	101,670	376,053,195	11,976,546	37,393,747	425,423,488	33.2 : 66.8
	民間	16,720	209,955	778,320,934	10,774,713	65,125,349	854,220,996	
	計	17,354	311,625	1,154,374,129	22,751,259	102,519,096	1,279,644,484	
平成27年度	公共	613	101,261	367,618,988	12,716,313	37,186,798	417,522,099	33.2 : 66.8
	民間	17,223	213,336	762,803,254	12,247,611	64,827,383	839,878,248	
	計	17,836	314,597	1,130,422,242	24,963,924	102,014,181	1,257,400,347	
平成28年度	公共	649	101,244	383,841,599	11,875,711	37,265,304	432,982,614	34.5 : 65.5
	民間	17,052	208,789	747,352,337	11,806,897	64,013,398	823,172,632	
	計	17,701	310,033	1,131,193,936	23,682,608	101,278,702	1,256,155,246	
平成29年度	公共	618	107,080	389,239,749	11,637,367	37,587,265	438,464,381	35.7 : 64.3
	民間	16,403	201,089	713,466,975	13,627,937	61,995,530	789,090,442	
	計	17,021	308,169	1,102,706,724	25,265,304	99,582,795	1,227,554,823	

図-3 各年度別事業実績の推移

